

## 令和4年度第3回島根県公立大学法人評価委員会 議事要旨

### 1. 日時

令和5年1月17日(火) 14:00～16:00

### 2. 場所

島根県職員会館 教養室1

### 3. 出席者

(委員)

服部委員長、池田委員、今井委員、吉川委員、宮崎委員

(公立大学法人島根県立大学)

清原理事長・学長、新田副理事長、山下学長代行、八川事務局長、福間企画調整課長  
(事務局)

篠野総務部長、小笠原総務課長、山口私学・県立大学室長、錦織GL、奥田主任主事

### 4. 議事

(1) 島根県公立大学法人評価委員会の概要

(2) 地域貢献日本一を目指して

(3) 第4期中期目標策定にあたって

### 5. 会議の概要

(1) 会議公開・非公開の決定

島根県情報公開条例第7条第5号及び第34条の規定により、非公開が相当との事務局発言があり、委員に諮られたところ了承された。

(2) 議事

① 島根県公立大学法人評価委員会の概要

・ 事務局から、資料1-1、1-2により評価委員会の概要の説明があった。

② 地域貢献日本一を目指して

・ 県立大学から、資料2により大学の概要の説明があった。

③ 第4期中期目標策定にあたって

・ 事務局から、資料3により島根創生計画における県立大学への期待、県内就職の状況等について説明があった。

### <意見等>

・ キャリア教育において、面談等を取り入れながら、学生本人の思いが明確になっていくようなポートフォリオ、個人カルテのようなものを作っていくと、発達の視点で継続的な成長を学生本人も実感でき、周りの方も見やすいのではないか。

・ 浜田キャンパスについて、定員を石見部の生徒で埋められる数はほぼ精一杯埋

めているとすると、出雲部からも進学し、出雲部に就職するような県内の政策関係、地域連携関係の人材育成の拠点という位置付けにできないか。

- 県内進学について、高校生をターゲットに議論されているが、中学生など低年齢層へのアプローチも今後は必要になってくるのではないか。教員へのアプローチも併せて検討していく時期にあるのではないか。
- KENDAI 未来アトリエ事業を石見でも実現できたらよい。  
東西の格差を感じている。石見の経済界もしっかり県立大学と連携を取り、学生にも地元企業や地域の活動を理解してもらうことが、県内就職の数字を上げていく一つ方法であると思う。
- 来年度、短大部総合文化学科が「文化情報学科」に名称変更され、情報の学びを取り入れるのは素晴らしい取組だと思う。短大部だけではなく、4大の学生に対しても情報の素養を身につけた学生が育ってくると素晴らしいと思う。